

# 国内と地域の平和支援活動強化



日本補正予算：2020年4月～2021年4月

予算：日本(29万6,000米ドル)

主なパートナー：国防大学戦略研究センター (CSRS-NDC)、西  
アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS) 加盟国およびECOWAS待  
機軍

## 目的

このプロジェクトには、国防大学戦略研究センター (CSRS-NDC) が実施する訓練を通じ、西アフリカにおける平和支援活動 (PSO) の能力を強化するねらいがあります。

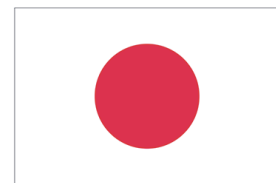
このプロジェクトにより、平和支援活動やECOWAS待機軍として従事される兵員と文民要員の能力が強化されます。

## プロジェクトの成果

成果1：多面的な平和支援活動 (PSO) に従事する兵員、警察官および文民要員の能力強化のため、地域のキャンペーンを向上させること

## SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標16に貢献します。



From  
the People of Japan

## 開発課題

アフリカ諸国をはじめ、世界の多くの国では、暴力的紛争の複雑性が高まりつつあり、その数も増え続けています。良いガバナンスの欠如や政治論争、生活の質的改善を求める市民の動きと、生活に必須のサービスへのアクセスの欠如を主な原因とするこの暴力により、政情不安がおき、生活や財産の理不尽な破壊、多数の民間人の避難や、重要な開発インフラの破壊が行われています。市民が暴力的過激主義や急進化、暴力的な集団抗議行動に不満のはげ口を求めることも多くあります。

ナイジェリア政府は、国連やアフリカ連合 (AU)、西アフリカの平和維持活動に対する大きな貢献を通じ、世界の平和と安全を守ろうとしています。ナイジェリアはダルフール国連・AU 合同ミッション (UNAMID)、国連アビエ暫定治安部隊 (UNISFA)、国連南スーダン共和国ミッション (UNMISS)、国連リベリア・ミッション (UNMIL)、国連コートジボワール活動 (UNOCI)、AU ソマリア・ミッション (AMISOM) など、アフリカ大陸をはじめ、全世界でさまざまな平和維持ミッションに貢献しています。最近まで、ナイジェリアは国連平和維持活動 (PKO) に対する全世界でおおよそ5番目、アフリカではおおよそ2番目に大きな兵員派遣国となっていました。国連PKOに派遣されたナイジェリアの部隊は、高い評判と評価を受けており、国連と国際社会からも、世界で最も優秀な部隊の一つとして認められています。全世界と西アフリカの平和支援活動で中心的な役割を果たすナイジェリアは、あらゆる分野で全世界の平和と安全に効果的な貢献を続けるため、優れた能力を保つことが求められています。